

平成23年11月1日
東北経済産業局

「元気TOHOKUものづくりシンポジウム ～東北で繋ぐ！拓く！ものづくりの新たなステージ～」 の開催について

東北経済産業局では、東北地域から日本のものづくりが進むべき未来を描き、東北地域の企業の取り組みを広く情報発信していくことを目的に、シンポジウムを開催いたします。

当日は、東北地域で集積が進む自動車産業の部品大手サプライヤーを招き、グローバル化への対応についてご講演いただくとともに、成長が期待されるスマート・コミュニティ市場の方向性等に関するパネルディスカッションを行うほか、東北地域の優れたものづくり企業の製品・パネル展示等も行います。

あわせて、平成23年度第三次補正予算に盛り込まれた新たな国内立地支援など、東北地域の復興支援のための施策紹介を行います。

シンポジウム終了後には情報交流会も開催しますので、新たなネットワーク形成の場としてご活用下さい。皆様方の多数のご来場をお待ちしております。

1. 日時：平成23年12月6日（火） 13：30～19：00

2. 場所：ホテルメトロポリタン仙台 4階
（宮城県仙台市青葉区中央1-1-1 TEL 022-268-2525）

3. プログラム

■13：30～ 開会

■13：40～14：40 基調講演

テーマ：「デンソーのグローバル化対応」

土屋 総二郎 氏（株式会社デンソー 取締役副社長）

■14：40～14：50 施策紹介

テーマ：「経済産業省関連の平成23年度第三次補正予算について」

東北経済産業局

■15：15～17：00 パネルディスカッション

テーマ：「次世代につながるスマートコミュニティーが創る新しい日本、そしてものづくり」

【モデレーター】

三神 万里子 氏（ジャーナリスト/キャスター）

【パネリスト】

藤原 洋 氏（株式会社ナノオプトニクス・エナジー 代表取締役）

田路 和幸 氏（東北大学大学院環境科学研究科 研究科長・教授）

高山 慎也 氏（株式会社アリーナ 代表取締役社長）

松崎 正 氏（三菱電機株式会社 本社スマートコミュニティプロジェクトグループ 主管技師長）

■ 17:15～19:00 情報交流会（会費制：3,000円）

■ 12:00～19:00 パネル・製品展示等

- ・ 戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）の研究成果、ものづくり日本大賞受賞企業（経済産業省主催）、ものづくり部品大賞受賞企業（ものづくり日本会議主催）等製品・技術展示
- ・ 「元気なモノ作り中小企業300社」選定企業パネル展示
- ・ TOHOKUものづくりコリドー、産総研東北センター等のパネル展示

4. 参加人数：延べ600名程度（講演会会場 定員 300名）

5. 主催：東北経済産業局、東北イノベーション・ネットワーク会議

後援（予定）：社団法人東北経済連合会
財団法人東北活性化研究センター
独立行政法人中小企業基盤整備機構東北支部
社団法人東北ニュービジネス協議会

（本件にかかるお問い合わせ先）

東北経済産業局 地域経済部 産業技術課長 岡崎 孝俊

担当者：油川、相馬

電話：022-221-4897（直通）

東北で繋ぐー拓くーものづくりの新たなステージー

ホテルメトロポリタン仙台

(宮城県仙台市青葉区中央 1-1-1)

2011 12/6 Tue.

■ 定員 300名程度

■ 参加費無料

元気TOHOKU ものづくりシンポジウム

今回の震災で自動車や電機産業の分野でサプライチェーンが分断され、図らずも東北地域の産業力の重要性が世界規模で再認識されました。オンリーワン製品や優れた加工技術を有する企業が集積する東北地域は、わが国の抱える課題を解決するためのイノベーションを起こす力を秘めています。本シンポジウムでは、東北地域からものづくりの進むべき未来を描きだし、世界に情報発信していきます。

基調講演 13:30~14:40

デンソーのグローバル化対応

株式会社デンソー 取締役副社長 土屋総二郎氏

パネルディスカッション 15:15~17:00

次世代につなぐスマートコミュニティが創る新しい日本、そしてものづくり

パネル・製品展示等コーナー 12:00~19:00

情報交流会(会費制 ¥3,000) 17:15~19:00

主催：経済産業省東北経済産業局、東北イノベーション・ネットワーク会議

後援：社団法人東北経済連合会、財団法人東北活性化研究センター
社団法人東北ニュービジネス協議会

(予定) 独立行政法人中小企業基盤整備機構東北支部

「元気TOHOKUものづくりシンポジウム(12/6)」プログラム

A 基調講演 13:30~14:40

株式会社デンソー 取締役副社長 土屋総二郎氏

デンソーのグローバル化対応

近年、製造業を取り巻く環境は急激に変化しており、特に、新興国での市場および生産地の拡大への対応や、大きな市場成長が見込めない日本でのものづくりの強化などが重要な課題となっています。

グローバルなものづくりでは、多様なニーズに敏感な、地域に適合した設備、工程を導入するとともに、将来の変化に柔軟に対応できることが必要です。また、日本では、先進的な技術を生かした円高などに負けないものづくりが必要です。

75年日本電装株式会社(96年株式会社デンソー)に入社、生産技術部にて、燃料噴射ポンプやEFIなどの精密製品の生産システム開発に従事。その後、ディスプレイやELの開発及び事業化に携わり、01年にボデー機器事業部長、02年取締役、04年常務取締役、07年専務取締役に就任し、11年から取締役副社長として、生産統括、生産推進センター長を担当。



B パネルディスカッション 15:15~17:00

次世代につながるスマートコミュニティが創る新しい日本、そしてもづくり

再生可能エネルギーへの注目が高まるなか、スマートコミュニティは次世代の成長新産業として、世界的にも大きな関心が寄せられています。

本セッションでは、他地域の事例なども紹介しつつ、多角的な議論を行います。スマート社会とはどのようなものか。東北地域が持つ基盤技術を踏まえ、今後どのような分野に参入の可能性があるのか、またどういった技術イノベーションを模索していくべきかについても話し合います。ご参加の皆様にとって、近い将来の展望から今後の大きな方向性、戦略を描いていただけるような内容を目指します。

モデレーター

三神万里子氏

(ジャーナリスト、キャスター)

日本文藝家協会会員。国内外のメディアで取材執筆を続け、産業種類、組織規模を問わず、社会システムの変化から見た新規事例やビジネスモデルを発掘。東日本放送「東北ビジネス最前線」キャスターのほか、中小企業政策審議委員やものづくり日本大賞選考有識者委員も務める。



パネリスト

藤原 洋氏

(株式会社ナオプティクス・エナジー/株式会社インターネット総合研究所 代表取締役)

05年宇宙・環境エネルギーベンチャー(株)ナオプティクス・エナジーを設立。同社は小型EVモビリティを中心とした新規EV事業を展開、鳥取県米子市を拠点にEV工場を設立。北九州スマートコミュニティ創造事業にも参画する。代表著書は『第4の産業革命』(朝日新聞出版)ほか。



田路和幸氏

(東北大学大学院環境科学研究科 研究科長・教授)

理学博士。91年東北大学助教授。10年東北大学大学院環境科学研究科長。研究は直流・交流給電を特徴としたエコハウスプロジェクトの推進や震災復興計画への環境科学からのアプローチなど。東北経済産業局「東北地域スマートグリッド研究会」委員長も務める。



高山慎也氏

(株式会社アリーナ 代表取締役社長)

92年(株)アリーナ入社。携帯電話用電子デバイスの微細加工技術の限界に挑戦し、世界一の超狭隣接高密度実装技術を確立。03年社長。現在はこの技術を展開し、新たな電子デバイス組立技術を事業化するための研究を進める。06年「元気なモノ作り中小企業300社」に選定。



松崎 正氏

(三菱電機株式会社 本社スマートコミュニティプロジェクトグループ 主管技師長)

78年(株)三菱電機入社。長年、電力・公共インフラ向けの監視制御システムおよびICTシステムの開発に従事。06年からスマートグリッド関連の通信技術開発に従事し、現在スマートグリッド、スマートコミュニティの事業開発における技術統括を担当。



《タイムテーブル》

	SENDAI 西/南	ホワイエ	芙蓉	SENDAI 東
10:00				
11:00			E	
12:00				
13:00				
14:00	A			
15:00		C		
16:00	B			F
17:00				
18:00			D	
19:00				

《会場配置図》



C パネル・製品展示等コーナー 12:00~19:00

会場ホワイエでは、ものづくり日本大賞東北経済産業局管内受賞者やモノづくり部品大賞(モノづくり日本会議主催)受賞製品の展示のほか、過去4回実施した「元気なモノ作り中小企業300社」の選定企業パネル展示などを行います。戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)成果展示なども予定しています。



D 情報交流会 17:15~19:00

参加者皆様で交流できる場です(会費制 ¥3,000)。この時間、ホワイエに展示する製品やパネルなどご覧いただけます。

《併催》

ご参加希望の方は、別途お問い合わせ下さい。

E ものづくりマッチングツアー/ワークショップ 10:00~12:00

前日の12月5日に実施したモノづくりマッチングツアー(東北ものづくり企業を訪問するツアー)参加者が一堂に会し、具体的な事業提携や広域連携など幅広い意見交換、ネットワークづくりを行うグループワークを開催予定です。

F 〓モノづくり部品大賞表彰式/受賞Movie上映 15:15~16:45

本年度「超」モノづくり部品大賞受賞者の表彰式を行います。またあわせて受賞企業の映像上映も予定しています。

※併催事業については、モノづくり日本会議事務局(03-5644-7608)へお問い合わせ下さい。

参加方法

下記参加申込書に必要事項をご記載いただき、FAXにてお申し込み下さい。また、ホームページでもお申し込みを受け付けております。

《 <http://www.genkitohoku.jp> 》

参加申込書 下記ご記入のうえ、FAXして下さい
送信先FAX **022-265-2349**

参加希望のプログラムにしてください。

※各プログラムについて、定員に達し次第申込受付は終了いたします。

A 基調講演 B パネルディスカッション D 情報交流会

企業・機関名	
氏名	
役職	
TEL	
FAX	
所在地	〒
E-mail	

個人情報の取り扱いについて ※送付いただいた個人情報は、本事業の運営のみに利用し、適切に管理いたします。